

(学校番号034) 令和4年度版「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」【新開小学校】

2022/4/28		
目標・策		
知識・技能	令和3年度全国学力・学習状況調査及び令和元年度さいたま市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「知識・技能」の回答の割合を1pt向上させる。	⇒ 新出漢字の練習時間や「ドリルパーク」「スタディ・サブリ」等を活用する時間を確保し、漢字や基本的な計算等の「知識・技能」の反復・習熟に取り組む。算数タイム等を活用し、学習相談に取り組む。
思考・判断・表現	令和3年度全国学力・学習状況調査及び令和元年度さいたま市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「思考・判断・表現」の回答の割合を1pt向上させる。	⇒ タブレット端末やデジタル教科書等のICTを効果的に活用した学習活動を行う。また、オクリンクやムーブノートのカード機能を活用し、児童同士の考えを共有し比較・関連できる活動を位置付ける。
主体的に学習に取り組む態度	令和4年度学校評価アンケート「自分から進んで学習に取り組んでいますか。」の質問項目において、令和3年度の値より肯定的な回答の割合を1pt以上向上させる。	⇒ 学習課題の明示と、課題に対する答え・振り返りを位置付けた授業を展開することで、児童に本時のねらいと解決方法の見通しをもたせ、自力解決に向けて取り組むことができるようにする。

9月〇〇日		
中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
知識・技能		⇒
思考・判断・表現		⇒
主体的に学習に取り組む態度		⇒

2022/8/30	
全国学力・学習状況調査結果・分析	
<p>令和4年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、国語では、特に言葉の特徴や使い方に關する領域、算数では、特に基本的な計算のしかたについて課題があったため、基礎的な技能の定着をより一層重視し、確実な習得ができるよう学習活動の工夫を行いたい。</p> <p>令和4年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」においては、国語では、特に書くことに関する領域に課題があり、無解答率も高かったため、日頃の振り返りや感想文などの書く活動をより多く取り入れ、友達と対話しながら学び合う活動を重視したい。算数では、特に図形に關する領域に課題があったため、図形を構成する要素に着目させて自分の考えを説明する活動を十分にを行い、特徴を捉えられるように指導していきたい。</p> <p>令和4年度全国学力・学習状況調査の「質問紙調査」では、「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の質問項目において、良好な結果であったことに対し、「解答時間は十分でしたか。」の質問項目に課題が見られた。特に、問題数の後半になるにつれて、無回答率が高まる傾向があるため、学習への意欲を継続させるとともに、解答時における適切な時間配分について指導していきたい。</p>	

2023/2/16			
さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3	令和4年度さいたま市学習状況調査において、令和元年度調査と比較し、「知識・技能」に課題が見られた。「思考・判断・表現」は向上が見られた。領域では、国語は、特に「我が国の言語文化に関する事項」に課題があった。算数は、特に「図形」や「測定」に課題があった。	小4	令和4年度さいたま市学習状況調査において、令和元年度調査と比較し、「知識・技能」は国語に課題が見られ、「思考・判断・表現」は算数に課題が見られた。領域では、「読むこと」の定着が図れているが、「書くこと」に課題があった。算数は、「図形」や「データの活用」に課題があった。
小5	令和4年度さいたま市学習状況調査において、令和元年度調査と比較し、「知識・技能」「思考・判断・表現」とも、算数は向上したが、国語に課題が見られた。領域では、国語は、特に「言葉の特徴や使い方に關する事項」に課題があった。算数は、「変化と関係」は定着が図れているが、「データの活用」に課題があった。	小6	令和4年度さいたま市学習状況調査において、令和元年度調査と比較し、「知識・技能」「思考・判断・表現」とも、算数は向上したが、国語に課題が見られた。領域では、国語は、特に「読むこと」に課題があった。算数は、特に「変化と関係」に課題があった。

2023/2/28		
成果指標に対する達成状況		評価(※)
知識・技能	令和4年度全国学力・学習状況調査において、令和3年度全国学力・学習状況調査と比較し、国語・算数ともに目標を達成することができなかった。令和4年度さいたま市学習状況調査において、令和元年度さいたま市学習状況調査と比較し、国語は目標を達成することができなかったが、算数は目標を大きく達成できた学年が多く、達成できなかった学年もあと少しで目標に迫ることができた。	C
思考・判断・表現	令和4年度全国学力・学習状況調査において、令和3年度全国学力・学習状況調査と比較し、国語・算数ともに目標を達成することができなかった。令和4年度さいたま市学習状況調査において、令和元年度さいたま市学習状況調査と比較し、国語は目標を達成した学年と達成できなかった学年それぞれ見られた。算数は、目標を達成できた学年が多かった。	B
主体的に学習に取り組む態度	令和4年度学校評価アンケート「自分から進んで学習に取り組んでいますか。」の質問項目において、令和3年度の値より肯定的な回答の割合が上回り、目標を達成することができた。	A

2023/3/10	
次年度への課題と改善策	
知識・技能	算数では習熟度別授業の実施等により改善が見られ、さいたま市学習状況が行われた3学期には「知識・技能」の定着が図れた内容が増えた。しかし、国語では学習内容の定着に課題が見られることから、ICTを活用した新出漢字の学習や、学力向上タイムでの習熟時間の確保や学習相談の充実を検討していきたい。また、長期休業中の「ドリルパーク」「スタディ・サブリ」等の活用方法を検討し、個別最適な学びを展開できるよう検討していきたい。
思考・判断・表現	学校課題研修のテーマをICTやタブレット端末を活用した授業としたことで、授業実践の積み重ね・共有化を図ることができ、目標の達成状況を見ると、改善された学年が多かった。しかし、個人差が大きいことから児童一人ひとりに合わせて必要な支援を講じていきたい。さらに、来年度も学校課題研修にICTを位置付け、オクリンクやムーブノートのカード機能を活用して児童同士の考えを共有し、考えを読み取ったり深めたりする活動の一層の充実を図っていきたい。
主体的に学習に取り組む態度	令和4年度学校評価アンケート「自分から進んで学習に取り組んでいますか。」の質問項目において、昨年度の割合を超えていることを踏まえ、来年度も肯定的な回答の割合を維持できるようにするとともに、「学校の授業は、楽しくて分かりやすいですか。」の質問項目においても、肯定的な回答の割合を維持できるよう、「わかる授業」の実現に努めていきたい。

※評価  
 A 8割以上(達成)      C 4割以上(あと一歩)  
 B 6割以上(概ね達成)      D 4割未満(不十分)